

7. めざす児童像にせまるための取組

学校教育目標

「つながい、高め合う 北陽っ子」

カリ・マネの柱

つながい、高め合う力（国語科「話すこと・聞くこと」領域）

自分事として 自ら学び取る子 (学習指導部)	感謝できる子 (生徒指導部)	努力を大事にする子 (特活保体指導部)
○自ら考える子 資質・能力を育成する単元構想 ・教科等横断的な視点、育成したい資質・能力やゴールの明確化 ・教科の見方・考え方を働かせるための共通の軸の明確化 ・予想される児童のつまずきに対する手立て ○学びを深める子 教科の見方・考え方を働かせ、 学びを深める発問・問い返し ・児童の思考の方向性が生まれるための意図的な発問 ・ねらいにせまるための学習形態の選択、交流の目的や視点 ・学び合う目的や視点を明確にして、根拠や理由を説明する場の設定 学びの自覚化 ・学びや変容を自覚するまとめ・振り返り、学んだことをいかす適用問題等	○自分からできる子 自己決定の場を与える ・児童自らが選択・決定する教師の指導・支援 ・学校生活における模範的な児童のモデル化 自己存在感を与える ・成功体験を大切にしたい教師の指導・支援 ・やりきらせ、達成感をもたせる場の設定 ○優しくかかわる子 共感的な人間関係の育成 ・学級・学年における話し合い活動の重視（学級・学年経営の重視） ・生活目標の取組における温かな人間関係の構築 安全・安心な風土の醸成 ・ルールやマナーについての指導・支援 ・多様な考えを認め合う集団づくり	○自分から動く子 ＜特別活動＞ 考え、判断し、行動する場の設定 ・学級会、クラス会議での折り合いをつけて話し合う力の育成 ・行事はクラス・学年・全体を認める場に活かし、日常とつなげる ・「子」できた⇄先・友認める」のサイクルの反復 良いモデルの共有 ・児童の良い姿を認め、広める（姿勢、表情、働き →委員会・クラブ活動を活用） ○心も体も元気な子 ＜健康・運動＞ 正しい生活習慣の意識付け ・健康観察の時間を活用 ・学期ごとの健康指導の継続 ・継続的な食育指導 「運動を楽しむ」意識の育成 ・ゲーム性のある運動を取り入れる ・より多くの児童が楽しめるルールを設定した体育の授業の実施 ・「できた」達成感を味わえる指導